

日本造血細胞移植学会

平成 17 年 3 月吉日

会員各位

日本造血細胞移植学会

「同種末梢血幹細胞ドナーフォローアップ事業」

参加施設各位

日本造血細胞移植学会

ドナー委員会

**日本造血細胞移植学会「同種末梢血幹細胞ドナーフォローアップ事業」における新規ドナー登録終了と、
「血縁造血幹細胞ドナー（骨髄・末梢血）事前登録事業」の開始に関するお知らせ。**

陽春の砌、会員の皆様にはご清栄の段、大慶に存じ上げ奉ります。

さてこの度、平成 12 年度より皆様の絶大なご尽力の下に実施してまいりました「同種末梢血幹細胞ドナーフォローアップ事業」における新規ドナー登録終了に当たりまして、又、平成 16 年度理事会において決定され、評議員会、総会におきまして承認されました「血縁骨髄ドナーの前方視的登録（事前登録）」の開始に先立ちまして、会員並びに本事業参加ご施設の皆様に、これらに関するご説明とお願いを申し上げます。

1. 同種末梢血幹細胞ドナーフォローアップ事業における新規ドナー登録の終了について。

平成 12 年 4 月、同種末梢血幹細胞移植の健康保険薬価収載以降、同法に於けるドナーの安全性を確認するために行われてきた本事業は、全ドナーの事前登録、急性期有害事象報告、並びに同意の得られたドナーに於ける採取 30 日目の報告と毎年の健康診断から構成されておりましたが、新規ドナー登録期間でありました 5 年を終えました。この間に登録された約 3,300 件はわが国で実施された同種末梢血幹細胞採取のほぼ全件数であると考えられ、そこから得られたドナーの安全性に関わる情報は逐一皆様に開示されているところでありますが、急性期有害事象、採取 30 日目までのドナーの状況に関わる実態を把握し、データとしてまとめ今後のドナーのいっそうの安全を担保するうえで、一先ず必要な数が集積されたと考えますので予定どうり新規登録を終了したいと思います。皆様の今日に至るまでのご尽力に敬意と謝意を表すると共に、更に今後 5 年間続けられるドナー中長期フォローアップ事業に引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 「血縁造血幹細胞ドナー（骨髄・末梢血）事前登録事業」の開始について。

同種造血幹細胞移植は健常ドナーが幹細胞提供後も完全な健康状態を維持できることを前提としております。健常ドナーの内、血縁末梢血幹細胞ドナーについては本学会によって、非血縁骨髄ドナーについては骨髄移植推進財団によって、又、臍帯血ドナーについては日本さい帯血バンクネットワークによって、提供後のフォローアップが行われておりますが、唯一血縁骨髄ドナーだけはその歴史の古さ故にフォローアップシステムが無く、ドナーが真に提供後も健康状態を維持しているかどうか確かめる術が無いのが現状であります。一部に血縁骨髄ドナーが提供後の後遺症に悩んでいらっしゃるといった話を聞くにつけ、更には他の血縁臓器（肝、腎等）提供者において比較的重篤な後遺症が発生しているとの報告を見るにつけ、血縁骨髄ドナーのための提供後の健康把握システムが無いことは本学会としてもはや看過すべきではないと考えます。幸い当学会には今までの同種末梢血幹細胞ドナーフォローアップのシステムと経験がありますので、この度このシステムを応用・改訂し、血縁造血幹細胞ドナー（骨髄・末梢血）事前登録事業を開始することにより、わが国における血縁者からの幹細胞提供例を全件把握し、ドナーの安全向上に役立てたいと思います。このような事業を取って今開始する理由は、ドナーの安全を確保し続けることが造血幹細胞移植療法の更なる発展・普及・応用を図ろうとする本学会にとって必須の要件であると考えからであります。

新たな事業を開始するに当たり、今までの同種末梢血幹細胞ドナーフォローアップ事業関連各社に新事業のための特別寄付を依頼しましたところ、快諾を得ました。効率の良い運営で、精度の高い情報を得ることを心がけたいと思っております。

以上、会員各位、関係ご施設各位にはご多用のところ更なるお願いになるわけですが、どうぞ本事業の趣旨をご理解の上今一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末尾になりましたが、皆様方のご健康と一層のご発展を祈念いたします。